

症 例：65歳，男性。

主 訴：左側腹部痛，全身倦怠感。

家族歴：父；脊椎カリエス，母；子宮癌，姉；慢性関節リウマチ・乳癌にそれぞれ罹患。

既往歴：51歳より振動病，1年前に高血圧を指摘され，近医で薬物療法を受けたことがある。

現病歴：平成7年12月頃より左側腹部に鈍痛が出現したため，平成8年1月17日に近医を受診した。平成7年の夏より体重は7kg減少していたが，腹痛以外に嘔吐・下痢などの消化器症状は認めなかった。腹部超音波検査で左後腹膜に腫瘤を指摘され，1月27日に当院外科を紹介された。入院後，CTとMRIで両側の副腎腫瘍が認められ，精査のため当科に紹介された。

生活歴：職業は農林業。飲酒歴，喫煙歴なし。常用薬なし。

入院時現症：身長158.5cm，体重57kg，体温36.9℃，血圧120/70mmHg，脈拍60/分，整。眼球結膜に貧血なく，眼瞼結膜に黄染なし。口腔粘膜に色素沈着あり。咽頭発赤も扁桃腫大も認めない。甲状腺腫触知せず。左胸鎖乳突筋の後方に直径1cm大までの弾性軟のリンパ節を3個触知するが可動性は良好で，圧痛はない。腋窩・鼠径リンパ節触知せず。胸部理学的所見に異常なく，腹部では肝脾を触知せず。腹水も下腿浮腫もない。直腸診は異常なし。神経学的所見に異常はない。

入院時検査所見：赤沈30mm/hr，赤血球数 $338 \times 10^4/\mu\text{l}$ ，ヘモグロビン10.9g/dl，ヘマトクリット32.2%，白血球数 $5,700/\mu\text{l}$ (neutro 18.0%，eos 11.0%，bas 2.0%，mon 9.0%，lym 60.0%)，血小板数 $32.6 \times 10^4/\mu\text{l}$ ，プロトロンビン時間，部分トロンボプラスチン時間，トロンボテストおよびヘパプラスチンテストは正常，フィブリノゲン796mg/dl，総ビリルビン0.3mg/dl，GOT 25IU/l，GPT 19IU/l，LDH 500IU/l(220~450)，ALP 514IU/l(81~231)， γ -GTP 66IU/l，コリンエステラーゼ0.83 Δ pH(0.52~1.42)，アミラーゼ105IU/l，総コレステロール174mg/dl，トリグリセ

リド57mg/dl，BUN 14mg/dl，クレアチニン0.8mg/dl，尿酸4.7mg/dl，Na 141mEq/l，K 4.4mEq/l，Cl 102mEq/l，Ca 8.1mg/dl，P 4.2mg/dl，Fe 69 $\mu\text{g}/\text{dl}$ 。総蛋白7.2g/dl(アルブミン3.5g/dl， α 1-g1 5.0%， α 2-g1 11.0%， β -g1 12.9%， γ -g1 22.2%)。CRP 0.24mg/dl，ツベルクリン反応 0.8×0.7 cm，STS(-)，TPHA(-)，HBsAg(-)，HCV Ab(-)，抗核抗体(-)，CEA 1.5ng/ml，CA 19-9 8.7U/ml。内分泌検査の結果を下表に示す。胸部X線写真ではCTR 47.0%，肺野に異常陰影なし。腹部CT，MRIで両側副腎腫瘍(右 4×2 cm，左 8×7 cm)が認められ，左副腎は内部不均一で隔壁様構造を有する。傍大動脈領域にリンパ節腫大は認めない。

入院後経過：副腎静脈採血を行い，右副腎静脈でアドレナリン <5 pg/ml，ノルアドレナリン288pg/ml，ドーパミン8pg/ml，左副腎静脈ではアドレナリン <5 pg/ml，ノルアドレナリン516pg/ml，ドーパミン32pg/mlであった。またカルシウム負荷試験では，血清カルシトニンに負荷前29.1pg/mlよりカルシウム投与開始10分後に頂値170pg/mlまで上昇した。副腎腫瘍に対して開腹手術が行われた。

内分泌の検査結果		正常値
TSH	1.2 $\mu\text{U}/\text{ml}$	(0.4~5.3)
fT ₄	0.96 ng/ml	(0.97~2.02)
fT ₃	3.27 pg/ml	(3.4~5.5)
コルチゾール	5.4 $\mu\text{g}/\text{dl}$	(4.9~19.0)
血漿レニン活性	0.17 ng/ml/hr	(<2.3)
アルドステロン	<10 pg/ml	(35.7~240)
アドレナリン	<5 pg/ml	(<100)
ノルアドレナリン	530 pg/ml	(100~450)
ドーパミン	17 pg/ml	(<20)
尿中17-OHCS	3.3 mg/日	(3.4~12.0)
尿中17-KS	2.9 mg/日	(4.6~18.0)
尿中アドレナリン	1.5 $\mu\text{g}/\text{日}$	(3.0~15.0)
尿中ノルアドレナリン	135.4 $\mu\text{g}/\text{日}$	(26.0~121)
尿中ドーパミン	644.8 $\mu\text{g}/\text{日}$	(190~740)

上記症例の解答を募集致します。①診断名と，②診断の根拠を原稿用紙1枚以内におまとめの上，ご所属を明記して下記までお送り下さい。

〒113 東京都文京区本郷5-24-3

医学書院『medicina』編集室

募集締切：1995年10月30日必着

正解者のうち抽選により50名の方に弊社オリジナルテレフォンカードをお送り致します。なお，本症例のディスカッション内容は34巻1号(1997年1月号)に掲載致します。